



【ミネルバ】

Minerva

vol.7

特集！『高専 OG のグローバルな活躍』

茨城高専・小山高専・木更津高専・長野高専・福島高専コラボ号



小山高専 × STEAM

もくじ はじめに ごあいさつ	1
お知らせ	2
YouTube ショート動画でみる「わが社のミネルバ紹介」	3
高専 OG のグローバルな活躍	5
2025 年オープンキャンパス OG 講話	11

◆ はじめに ◆

みなさんは、将来、どんな仕事に就きたいと考えていますか。
また、どんな人になりたいと思っていますか。

この冊子には、「理工系分野の仕事に興味がある」「エンジニアの仕事をよく知りたい」という人をはじめ、これから将来を考え始める人にも、役に立つ情報がたくさん載っています。進路選択で悩んでいるとき、将来の仕事について考えてみたいときなど、この冊子を開けば、何かヒントが見つかるかもしれません。生き生きとかがやく女性エンジニアの先輩たちの声を参考に、ぜひ自分の将来の夢をふくらませ、未来の自分の姿を思い描いてみてください。

◆ ごあいさつ ◆

～世の中の仕事を知る・理工系学生の姿を感じる～

小山工業高等専門学校
校長 鶴見 智



世の中にどのような仕事があるかを知ることには大切だと思いませんか。知る機会・考える機会のために、この冊子は特に女子中学生向けに、理工系の仕事をしている女性エンジニアの方たちの活躍ぶりを紹介し、みなさんの参考にしてもらえようとして作成したものです。今回は小山高専に関係する企業の女性エンジニアに加え、茨城高専・木更津高専・長野高専・福島高専から高専 OG のグローバルな活躍紹介、また、小山高専 OG からのメッセージを掲載しています。この冊子の内容から何かを感じてくれたらと思います。気になったことがあれば、小山高専までお気軽にお問合せください。

お知らせ

小山高専では、一人でも多くの皆さんに理工系の学びの楽しさ、職業の魅力との幸せな出会いを届けたい、小さな興味の芽を大きく育てるお手伝いをしたいとの思いから、小中学生（特に女子）を対象として、この冊子をはじめ様々な企画をお届けしています。イベントの参加者募集などの最新情報は、Webページやチラシでお知らせします。



小山高専×STEAM
Web ページ

小山高専×STEAM ダイバーシティ型STEAM人材育成プロジェクト 取組概要図



高専（高等専門学校）とは



全国に国公立合わせて57校ある高等教育機関だよ。中学卒業後に5年間、国数理英と専門科目をバランスよく配置した勉強により、技術者に必要な豊かな教養と専門知識を身につけることができるよ。また、学んだことを応用する能力を身につけるために、理論だけではなく実験・実習に重点が置かれている学校だよ。

YouTube ショート動画でみる

「わが社のミネルバ紹介」

わが社のミネルバ紹介として、理工系女子として働く皆様に、会社紹介や理工系の仕事についてメッセージをいただきました。内容は、YouTube ショート動画（QR コード）からご覧ください。



明和コンピュータシステム 株式会社

情報サービス業

所在地：栃木県小山市間々田 792-8

<http://www.mcs-net.co.jp/>

モリオカ メイ
森岡 芽意さん



東京ガスネットワーク 株式会社

ガス業

所在地：東京都港区海岸 1-5-20

<https://www.tokyo-gas.co.jp/network/>

モリタ ハルカ
森田 遥香さん



株式会社 LIXIL

建材・設備機器製造

所在地：東京都品川区西品川 1 丁目 1 番 1 号 大崎ガーデンタワー 24 階

<https://www.lixil.co.jp/>

スミヤ カナコ
炭家 佳奈子さん





株式会社 NTT-ME

情報通信業

所在地：東京都新宿区西新宿 3 丁目 19-2 NTT 東日本本社ビル
<https://www.ntt-me.co.jp/>

オオタニ サエ
大谷 冴 さん



カテル 株式会社

情報通信業（Web サイト制作、Web システム開発、デザインクリエイト）
所在地：栃木県宇都宮市西川田 1-7-11 ウツノミヤサイト
<https://caters.co.jp/>

アンザイ ナオ
安西 那緒 さん



株式会社 FIXER

情報・通信業

所在地：東京都港区芝浦 1-2-3 シーバンス S 館最上階
<https://www.fixer.co.jp/>

ハマノ アキラ
浜野 晶 さん



三桜工業 株式会社

自動車用配管部品の設計開発・製造・販売
所在地：茨城県古河市鴻巣 758
<https://www.sanoh.com/>

イシヤマ ヒヨリ
石山 日和 さん



高専 OG のグローバルな活躍

茨城高専 2020年

産業システムデザイン工学専攻 応用化学コース 修了

「松田 萌実 まつだめぐみ」さん

三井化学 ICT マテリア株式会社

company data

所在地：愛知県名古屋市中区丹後通 2-1

HP：https://www.mcictm.com/



☆プロフィール

茨城県常陸太田市出身

2013年 茨城高専物質工学科に入学

2018年 卒業 / 専攻科入学

2020年 修了 / 山形大学大学院入学

2025年 大学院修了 (博士号取得)

高専や大学で有機合成や半導体高分子合成・物性を学び、フィルムやテープを開発・製造をする会社に入社

2025年 三井化学株式会社 入社

現在は、三井化学 ICT マテリア株式会社 プロテクトフィルム開発部に所属しています。

☆今、どんな会社・部署で何をしていますか？仕事の内容は？

三井化学ICTマテリア株式会社のプロテクトフィルム開発部で、半導体後工程用のテープの開発や、顧客の技術サポートを行っています。三井化学名古屋工場内に2024年に新設された研究開発拠点、クリエイティブインテグレーションラボ®で、お客様とのコミュニケーションを大切にしながら開発を行っています。



☆仕事のやりがいとは？

半導体産業を支える重要な材料を開発しているという責任感と誇りがあります。開発に携わった製品が世界中の電子機器製造時に使われていくことを実感できるのは大きなやりがいです。

☆海外で働くとは？海外で働くことで得たことなど

私は大学院時代に約1年間台湾に留学し、自身で合成した高分子の半導体デバイスへの応用に関する研究をしていました。海外での挑戦は毎日が新しい発見の連続です。技術力だけでなく、たくさんの仲間と課題を乗り越えた経験は、今後のキャリアを支えるかけがえのない財産です。

☆高専での学びは？学校で学んでほしいことは？

長い時間を費やした学生実験や卒業研究を通じてエンジニアとしての基礎力を養うことができました。加えて、私にとって大きな学びとなったのは「人」からの学びです。高専には多様なバックグラウンドを持つ先生方が在籍し、本科1年生から専攻科2年生まで幅広い年代の学生が学んでいます。さらに、外部の大学や研究機関と交流できるプログラムも充実しており、視野を広げる機会に恵まれました。学校では、勉強はもちろん、たくさんの人とコミュニケーションを重ねて人生の先輩方から学びながら、将来ありたい姿を考えていってほしいです。

☆女性エンジニアを目指す人たちへのメッセージをお願いします！

エンジニアは世界を自分の手で変えていく実感ができる仕事だと感じています。私が高中生の頃はあまり深く考えていませんでしたが、一つ一つの選択の積み重ねが未来に繋がっています。たくさん悩んで、たくさん挑戦して、素敵な未来をつかっていってください。応援しています！

高専 OG のグローバルな活躍

小山高専 2005年
電子制御工学科 卒業

「ニヤーム・リ・イン」さん

有限会社 ダイソーマレーシア

company data

所在地：マレーシア・クアラルンプール

HP：https://www.daisojapan.com.my



☆プロフィール

マレーシアクアラルンプールで生まれ育ち、2001年日本留学
2002年 小山高専電子制御工学科に3年次編入学
2005年 卒業
2005年 電気通信大学システム工学科に3年次編入学
2007年 大学卒業後帰国し、両国の架け橋となる仕事に従事
2008年 在マレーシア日本大使館に転職
2014年 タイガー商事有限会社に転職
2015年 ダイソーマレーシア有限会社に転職
現在は、2027年に稼働予定のマレーシア新GDC（大創産業の最大の自動倉庫）の建設プロジェクトに携わる

☆今、どんな会社・部署で何をしていますか？仕事の内容は？

ダイソーマレーシアのジェネラルマネージャーを務めており、会社経営管理に携わって、財務部、人事総務部と法務部を監督しています。近年ではマレーシア新GDCの建設に関わり、契約審査や諸許可の申請で政府機関や取引先と連携する仕事に従事しています。



☆仕事のやりがいとは？

やはりマレーシア新GDCです。マレーシアから世界へ商品を発送という夢に向けて、空地に建屋や自動倉庫といった有形モノの建設のために、政府機関の様々なルールを遵守し、取引先の絆を築くことに従事しています。

☆海外で働くとは？海外で働くことで得たことなど

仕事で日本人駐在員との話でよく聞くのは、日本では考えられないことが多々あり、柔軟に対応するしかない場面が多く、危機管理能力が育つことです。また、多民族国家で異なる文化がミックスする環境において、お互いの信仰・習慣・価値観を尊重しながら共に働くことは、視野が広がり、海外経験を得て他国へ転職・独立して起業する可能性も出てきます。

☆高専での学びは？学校で学んでほしいことは？

大学へ編入学してすぐ実感したのは、高専の実験は充実しており、大学の同級生を指導することができるぐらいでした。理論学習だけではなく、電子基板を設計・制作し、デバイスをつくることなど、最終的に現場で稼働できるものをつくりあげます。高専はものづくりの実践や体験が多いので、ぜひ学んでほしいところです。

☆女性エンジニアを目指す人たちへのメッセージをお願いします！

AIが盛んになっていく時代において、理論検証、現場力、実践力が重宝されると思います。真偽を見極める力をつけてスマートに仕事しましょう。また、技術者ではない人に理解できるように説明できるコミュニケーション能力を養いましょう。

高専 OG のグローバルな活躍

木更津高専 2012年
機械・電子システム工学専攻 修了
「赤嶺 寛子 あかみね ひろこ」さん

株式会社 IHI

company data

所在地：東京都江東区豊洲 3-1-1

HP：https://www.ihi.co.jp



☆プロフィール

富津で生まれ育ち、小学生時代に姉の影響で高専入学を決意
2005年 木更津高専 電気電子工学科入学
2010年 卒業
2010年 木更津高専専攻科 機械・電子システム工学専攻入学
2012年 修了
高専の材料工学で鉄鋼に興味を持ち、材料分析会社に入社
2012年 株式会社日鐵テクノリサーチ計測・検査事業部入社
結婚を機に2017年 日産自動車株式会社 車両実験部入社
現在は、株式会社IHIで航空機エンジンにおける非破壊評価に関わる技術開発に携わっています。

☆今、どんな会社・部署で何をしていますか？仕事の内容は？

キャリアの大半はメーカーでエンジニアとして自動車や航空機部品に用いられる金属や複合材料の非破壊評価開発に携わってきました。グローバル標準の評価手法や品質保証体制を確立するための企画、仕様検討、試作、評価まで一連の業務を経験してきました。

☆仕事のやりがいとは？

特に自分の仕事が、新製品の仕様決定や大きなコスト削減に繋がる結果に繋がった時に大きな達成感を感じます。失敗を恐れず多くのトライ＆エラーを日々積み重ねることで、これまでの難しい課題も乗り越えることが出来てきたと思います。

☆海外で働くとは？海外で働くことで得たことなど

自動車メーカーであるプロジェクトでは、アジア6ヵ国の取組みを経験しました。同じ依頼をしても受取る相手によっては解釈が全く異なり、自分が想像していたものと真逆の対応が返ってくることもしばしばありました。他にも文化や習慣の違い、言葉の壁に戸惑うこともありましたが、個別に時間を取ってお互いの認識をすり合わせるなど、粘り強くコミュニケーションを取り、メンバーと協力してプロジェクトを成功することが出来ました。この業務を通して国籍や文化に関わらず、同じ会社の社員として対等に認め合える喜びや1つの目標に向かって共に努力することの大切さを学び、大きく成長できたと感じました。

☆高専での学びは？学校で学んでほしいことは？

若い時から自分が興味を持てる専門分野を学ぶことに注力できること、実験や実習を通して身につけた専門知識と実践力は社会に出てから役立ちました。新しい課題に直面した時、なぜそうなるのかを深掘りできる思考力は高専で培ったものです。学校での勉強は大変だと思いますが、失敗を恐れず、チャレンジすることを諦めないで欲しいと思います。

☆女性エンジニアを目指す人々へのメッセージをお願いします！

ものづくりの世界はまだ男性が多く、戸惑うことも多いと思いますが、技術力に性別の区別はありません。高専で得た専門知識と、夢を実現する勇気と探究心を持って世界へ羽ばたいてください！応援しています。

高専 OG のグローバルな活躍

長野高専 2005年
環境都市工学科 卒業

「高原 郁恵 たかはら いくえ」さん

大成建設 株式会社

company data

所在地：東京都新宿区西新宿1丁目25-1
HP：https://www.taisei.co.jp/

☆プロフィール



長野で生まれ、神奈川で幼少期を過ごし小学3年生で長野へ
1999年 長野高専環境都市工学科に入学
2005年 1年間のカナダ留学を経て卒業、群馬大学へ編入学
高専・大学でコンクリート構造を学び、英語を活かして最前線で
モノづくりの仕事がしたいとゼネコンを希望
2007年 大成建設株式会社へ入社
国内と海外工事での現場監督、工事中資材や工事費の価格交渉、
国土交通省への出向を経験。小学生男子2人の母。
現在は単身赴任でフィリピン営業所に在籍中。

☆今、どんな会社・部署で何をしていますか？仕事の内容は？

10年前にトルコのボスポラス海峡横断トンネル工事で現場監督を経験。出産・育児を経て国内勤務を続けながら国際分野への再挑戦を希望し続けた結果、今年7月から国際事業本部フィリピン営業所に赴任。現地政府機関にヒアリングをしたり、国内外企業と協業に向けた可能性を話し合ったりして、新しいインフラプロジェクト参加、獲得に向けて取り組んでいます。



☆仕事のやりがいは？

大成建設に入社してから18年間、海外・国内工事、本社での仕事、国土交通省への出向など様々なところで働いて得られた知識や人との繋がりを活かして今の仕事ができていることです。落ち込むこともありましたが、周りに支えられ続けてくれたからこそ、海外でも前向きに仕事が出来ているのだと思います。

☆海外で働くとは？海外で働くことで得たことなど

海外では日本の常識では考えられない予測不可能なことがたくさん起こります。いつも色々なケースを想定しつつ最善のやり方でチームを動かしていくことを意識するようになりました。また、海外では多くの女性が政府や企業のリーダーとして活躍しています。彼女たちの性別関係なく責任感をもって働く姿勢からたくさんのお話を学んでいます。

☆高専での学びは？学校で学んでほしいことは？

高専ではエンジニアとしての基礎を幅広く学びました。今の仕事は深い専門知識というよりは幅広い知識や先を見通して行動する力が求められます。高専では、実習や研究などを通して自ら考えて解決する機会が多かったと思います。ぜひ先生や友人の意見を聞くだけでなく、「私ならもっとこうする」「こうなったら更に良くなるのでは」という視点を持ちながら学んでほしいと思います。

☆女性エンジニアを目指す人たちへのメッセージをお願いします！

まだまだ女性が少ない業界の中で、新しい視点で提案をしていくことは、自分の会社だけでなく業界全体をも更に良くしていけるとと思います。自分なりの視点をもって活躍していただきたいです。

高専 OG のグローバルな活躍

福島高専 2018年

現ビジネスコミュニケーション学科 卒業

「本田 歩 ほんだ あゆみ」さん

株式会社 NNA オーストラリア

company data

所在地：オーストラリアニューサウスウェールズシドニー

HP：<https://nna-au.com/>



☆プロフィール

福島県いわき市で生まれ育ち、英語を身に着けたいと
2012年 福島高専（元）コミュニケーション情報学科に入学
2016年 デンマーク留学などで休学
2018年 卒業
2018年 お茶の水女子大学編入学
高専や大学で経済やジェンダー学を学び、報道局に入社
2021年 NHK 入社（記者職）
2024年 UNSW大学のジャーナリズム修士号取得
2025年 NNAオーストラリア
現在は、経済や農業記事の翻訳記事や、政治家や企業へのインタビュー記事の執筆を担う。

☆今、どんな会社・部署で何をしていますか？仕事の内容は？

オーストラリアの日系企業向けに経済新聞や農業新聞を発行する共同通信のグループ会社で、編集者兼記者をしています。主に農業新聞を担当しており、日本の酪農団体向けに市場レポートを書いたり、現地の生産者団体などにインタビューをしたりしています。

☆仕事のやりがいは？

日系企業の購読者の駐在員が、記事がビジネスに役に立ったと思ってくれる時に感じます。日系企業の新規ビジネスのアイデアになったり、オーストラリアへの進出を決めるための情報にもなったりしています。

☆海外で働くとは？海外で働くことで得たことなど

英語で記事を読んだり、英語でインタビューをするので最低限の英語は必須です。ただ、専門用語などはわからないことも多く、インタビューをしながら、言葉の意味を尋ねることもあります。分からないことをそのままにせず、恥ずかしがらずに人に教えてもらう姿勢が重要です。

☆高専での学びは？学校で学んでほしいことは？

高専では、短期・長期の留学の機会を何度かいただき、英語の勉強のモチベーション維持になったほか、海外で活躍するイメージを掴むことができました。高専は、夏休みなどが比較的長い上、進学校のように常に受験勉強に追われることはないと思います。夏休みの間に、自分の興味関心を深めるための様々な活動をすることで、その後の人生がより豊かになるのではないのでしょうか。

☆女性エンジニアを目指す人たちへのメッセージをお願いします！

今学んでいる科目や学科が自分にあっていないと思っている方もいるかもしれません。私は独学で国際協力や国際政治を学び、高専ではあまり学んでいない分野で大学編入をしました。同級生の中にも、多様なキャリアを築いている人がいます。人生はいつからでも軌道修正できるので、本当に自分がやりたいことを追求できると良いと思います。



2025年オープンキャンパス OG 講話

2024年 専攻科機械工学コース修了 片山美優さん

現在、高エネルギー加速器研究機構に所属の「片山美優」さん。オープンキャンパスで中学生や保護者へ向けて、お話ししてくださいました！

☆プロフィール

片山 美優
(かたやま みゆ) です。

出身は茨城県結城市です。

2017年に小山高専の機械工学科に入学し、本科5年間で卒業後、専攻科機械工学コースに進学して2年間学びました(専攻科は、本科5年間後のプラス2年の課程で、定員は20名、各学科約5名。修了すると大学学部卒と同じ「学士」が授与され就職時は大卒扱い。修了後は就職だけでなく大学院進学する人も多い)。

現在は高エネルギー加速器研究機構(KEK)という研究所に勤務しています。機械工学センターに所属し研究者の技術的支援を担当しています。具体的には、研究者から依頼された実験用の部品・装置を自ら加工・製造しています。



☆高専を選んだ理由

2歳上の兄が小山高専電気電子創造工学科に在籍しており、高専の存在を知っていました。自宅から約5kmと近く、通いやすかったこともあります(小山駅とほぼ同距離)。中学生時にオープンキャンパスへ参加し、先輩の話やキャンパス見学を通じて「面白そう」と感じました。機械工学科の棟に展示されていた実験装置や加工機械に特に興味を持ちました。車好きやロボコン志望ではなく、理科や実験が好きだったことが動機です。

☆学生時代にやっておいて良かったこと

中学のソフトテニスに続き、高専ではテニス部・写真部に所属しました。また、アルバイトも経験しました。高専ではアルバイトが許可されており、カフェ、巫女、塾講師など多様なアルバイトを経験することができました。課外活動で、工陵祭実行委員会の「花火局」で、打ち上げる花火の種類選定などを担当しました。

社会人になっても勉強は続きます。だからこそ、学生のうちにしかできない部活動・アルバイト・委員会活動などを積極的に経験しておくべきだと思います。

☆中学生へのメッセージ

やりたいことが分からなくて当たり前だと思います。まずは何かを始めてみましょう。オープンキャンパスで高専生の生の声を聞き、「自分に合うか」「面白そうか」を感じてみて欲しいと思います。何かを始める勇気があれば道は開けるはずです。将来の選択肢を増やすために、今の勉強を頑張りましょう。

2025年オープンキャンパスOG講話

2023年 電気電子創造工学科卒業 戸野塚理音さん

現在、SUBARU テクノに所属の「戸野塚理音」さん。オープンキャンパスで中学生や保護者へ向けて、お話ししてくださいました！

☆プロフィール

戸野塚 理音
(とのつか りおん) です。

出身中学校
栃木県野木町立野木中学校
2023年
小山高専 電気電子創造工学科 (本科5年) 卒業



現在は、SUBARU テクノ株式会社、電動駆動ユニット開発グループに所属しています。

現在3年目で、電気自動車(EV)開発へ向けた研究実験に携わっています。具体的には、EV搭載モーターの性能実験や電動車の熱実験に従事しています。仕事のやりがいとしては、自主性が尊重される環境で実験に取り組めること、発売前の自動車開発に携われることが挙げられます。

☆高専(小山高専)について

高専を選んだきっかけは、2つあります。1つめは、中学生の頃、理科の授業や実験が好きで、より深く学びたいと思ったからです。2つめは、親の勧めで、高専は就職に有利と聞き、興味を持ったからです。高専は就職率100%とよく言われますが、就職を選んだ同級生は皆1~2社受けて就職しているため、実際に就職しやすい学校であると思います。なかには、高専生を積極的に採用したいという企業もあります。

小山高専で良かったことは、実験とレポート作成の経験です。実験実習における「準備→実験→データ整理→考察→レポート作成」の流れが、現職の研究実験業務に直結しているため、就職後、業務に順応できました。また、高専特有の自由な校風は、自ら行動すれば多くを得られるため、主体性が身につきました。

☆中学生へのアドバイス

中学生のうちに頑張してほしいこと

- ・探求心を持つこと：高専の学びの基本はものごとの原理を考えることです。さまざまなことに疑問を持ち、じっくり考える力を養っておいて欲しいです。
- ・わからないことを放置しないこと：特に入学当初は高専の授業内容を難しく感じる人が多いです。今のうちから先生や友人に勇気を出して質問することを頑張ってください。

中学生へのメッセージ

- ・友達を大切にすること：付き合いの長い友人はとても頼もしく、親身になって話を聞いてくれます。
- ・得意なことや熱中できることを見つけること：モチベーションにつながります。

2025年オープンキャンパスOG講話

2018年 物質工学科卒業 戸倉沙織さん

現在、日本ライフラインに所属の「戸倉沙織」さん。オープンキャンパスで中学生や保護者へ向けて、お話していただきました！

☆プロフィール

戸倉 沙織
(とくら さおり) です。

1997年茨城県古河市生まれ
2013年小山高専 物質工学科に入学
2018年同学科卒業

心臓関連の医療機器でトップシェアを誇る日本ライフライン株式会社に入社。

現在の職務内容は、製品品質に関わる業務を担当しています。微生物(身の回りの菌・ばい菌)の観察や、高専で学んだ分析装置を用いた業務を実施しています。仕事のやりがいは「人の命や健康を守る責任感」、楽しさは、「自分が関わった製品が世に出る達成感」です。



☆進路選択の決め手・理工系を意識したきっかけ

物事の仕組みを考え観察が好きでした(例:アリの巣、ゼリーとプリンが固まる原理の違いなど)。中学の理科実験で、白衣を着た女性の先生が格好よく見えたこともきっかけです。高専を選んだ理由は、専門性と実践的な学び、早期から専門知識を学べ、毎週の実験で実践力が身につくこと、進路の選択肢の広さとして状況に応じて進学・就職の切り替えが可能で、選択肢を持ちながら学べることがあげられます。校風でもある、個性や多様性が尊重される雰囲気が自分に合っていると感じました。

☆高専での学びと経験・学んで良かったこと

実践的な力の習得として、座学に加え、手を動かして実験を重ねた経験が、社会での応用力に繋がったと思っています。また、個性を受け入れる姿勢として、多様な価値観の人々との関わりから、違いを受け入れる重要性を学んだことが社会でも役立っています。学んでほしいことは、わからないことを放置しない姿勢、自分で解決する姿勢が求められるので、主体的に質問する力(先生や友人に聞く力)を持つことは将来の武器になります。そして、人と協力して成果を出す力です。技術力・知識だけでなく、チームで協力して成果を出す経験が重要だと思います。

☆高専を目指す方へのメッセージ

基礎学力、数学・理科・英語の基礎を重視してください。基本的な計算、理科の知識、英文法を押さえておくことで安心です。暗記に頼らず、丁寧に理解する癖をつけましょう。女性が少ない環境については、近年女子学生は増加しています。私の在学時も先生・先輩・友人が優しく、居心地が良く楽しかったです。女性が少なくても居場所があります。そして、興味のアナテナを広く持ってください。中学生のうちから「面白いかも」と感じることに触れておくことで、進路決定に役立ちます。私は、小山高専の教育理念「技術者である前に人間であれ」を大切にしています。仕事ができるだけでなく、まず人間としてどうあるべきかを考えることが重要と思っており、皆さんもこの言葉を心に留めてほしいと思います。

2025年オープンキャンパス OG 講話

2024年 建築学科卒業 相沢萌さん

現在、俳優座劇場に所属の「相沢萌」さん。オープンキャンパスで中学生や保護者へ向けて、お話ししてくださいました！

☆プロフィール

相沢 萌
(あいざわ もえ) です。

2024年に卒業し、社会人2年目です。現在の職業は、俳優座劇場という会社に勤務しています。この会社は舞台やテレビの大道具を製作しています。

職種は「大道具大工」と呼ばれ、主に木を使ったセットのベース部分を担当しています。大道具大工の仕事は「究極のニセモノづくり」

だと思っていて、舞台セットは役者を目立たせるためのもので、観客に違和感を覚えさせない世界観づくりが重要というこだわりを持っています。ものづくりで人を感動させることや、自身が作った世界観を実感できることにやりがいを感じており、テレビや友人のSNSなどで自身の作品を目にすることもあり、面白い仕事だと感じています。



☆小山高専での経験・高専を選んだ理由

中学3年生の時、高校で再び3年間一般科目を学ぶことに疑問を感じていました。先生に紹介され、元々ものづくりが好きだったことから、専門的に学べる小山高専を直感で選択しました。高専生活で良かった点は、自主性が試される学校であると感じています。自由な校風の中で、一人一人が責任を持ち、学びたいことを自ら学びに行く姿勢が大事です。先生に助けってもらったり、学生同士で協力したりする環境が心地よく、楽しい学校生活だったと感じています。学生の特徴としては、個性豊かな学生が多く、互いに刺激を受けられるメンバーが集まっている印象です。学業面でも普段の生活でも、良い影響を受けられたと感じています。工陵祭(学校祭)での経験として、3年生の時、建築学科の恒例行事であるゲート製作でリーダーを務めました。大変でしたが、学生みんなで考えながらものを作る機会は非常に楽しかったです。

☆中学生へのメッセージ

小山高専という学校は、自分の姿勢次第で学びの深さが変わる学校です。自由と自主性が重んじられるため、積極的に学ぼうとすれば先生の助けを得て学びを深められます。逆に怠けることも可能であり、留年が多いという話は、やるべきことをやるべき時にできるかどうかの差から生じると考えます。

- ・高専に向いている人：高専への進学を考えているなら、今から授業・課題・試験勉強を一つ一つ大事にできる人が向いていると思います。
- ・進路選択についてのアドバイス：これから様々な学校を選ぶにあたり、自分が何をしたいか、何を目指すかをよく考え、後悔しない進路を選んでほしいです。

アンケートの回答に
ご協力をお願いいたします！



<https://forms.office.com/r/rnEqPeSdMn>



Minerva

【ミネルバ】

かがやく女性エンジニア

発行日 令和8年2月
発行・編集 小山工業高等専門学校

〒323-0806 栃木県小山市大字中久喜771番地
TEL 0285-20-2861 FAX 0285-20-2880



小山高専のホームページは
こちら



STEAMとは、

「科学 (Science)」「技術 (Technology)」「工学 (Engineering)」「芸術・リベラルアーツ (Arts)」「数学 (Mathematics)」の頭文字であり、これら5つの分野を統合的に学ぶ教育をSTEAM教育と言います。